スリムファン保証書

本書は、お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に製品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
 (ロ)お買上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、株式会社ユーイングにご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社ユーイングへご連絡ください。
4.保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 (イ)ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 (ロ)お買上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷。
 (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 (ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 (ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
 (ヘ)本書のご提示のない場合。
 (ト)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
 This warranty is valid only in Japan.
6.本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を厳守させますので、ご了承ください。

品番	MF-SR90F		
保証期間	対象部分	期間(お買上げ日より)	保証の条件
	本体	1年	持込修理
お買上げ日	年 月 日		
お客様	お名前 ご住所 電話		様
販売店	販売店名 ご住所 電話		印

株式会社ユーイング

【お客様相談室】TEL 0120-911-597 (無料)

〒639-1124 奈良県大和郡山市馬司町800番地

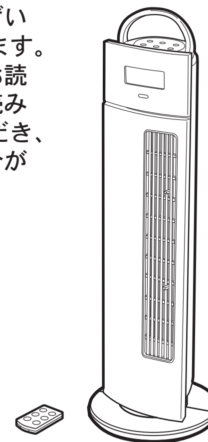
受付け時間 : 月曜日から金曜日 (祝日・当社休日は除く)午前9時～午後5時

MORITA

スリムファン 取扱説明書

品番 MF-SR90F

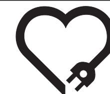
このたびは、スリムファンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。



保証書添付

6時間切タイマー / リモコン / マイコン / マイナスイオン / リズム風

愛情点検 長年ご使用のスリムファンの点検を!!



ご使用の際このような症状はありませんか？

・電源を入れても、動かないときがある。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・運転中に異常な音や振動がする。
・こげ臭いにおいがする。
・差込みプラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
・その他の異常、故障がある。

ご使用中止
故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

仕様

項目	50Hz	60Hz
品番	MF-SR90F	
電圧 (V)	100	
周波数 (Hz)	50	60
消費電力 (W)	33	35
回転数 (r/min)	1340	1520
風速 (m/min)	226	256
風量 (m^3/min)	13.7	15.1
首振角度 (度)	70	
コード (m)	ビニルコード 1.8	
高さ (mm)	885	
質量 (kg)	4.7	

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY .

1301-1

安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。

このスリムファンは、羽根の回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の２つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


警告　取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。


注意　取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

表示の例

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)


この記号は、してはいけない『禁止』内容です。


この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告


製品に異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。
●ケガや発火の原因になります。


分解禁止
絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
●異常動作してケガや発火の原因になります。


禁　止
スタンドをつけずにモーターを運転しないでください。
●ファンが回りだし、ケガや故障の原因になります。


禁　止
交流100V以外では使用しないでください。
●異常発熱して、火災の原因になります。


禁　止
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
●電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。


水ぬれ禁止
水につけたり、水等をかけたりしないでください。
●ショート・感電のおそれがあります。


プラグを抜く
お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜いてください。


ぬれ手操作禁止
ぬれた手で抜き差ししないでください。
●不意に作動して、ケガをしたり、感電の原因になります。


禁　止
電源コードや差込みプラグが傷んだり、破損しているときは使用しないでください。
●感電・ショート・発火の原因になります。


禁　止
コンセントの差込みがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間にホコリや金属や水分を付着させないでください。
●感電・ショート・発火の原因になります。



注意


禁　止
風を長時間、からだにあてないでください。
●健康を害することがあります。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。


禁　止
油や薬品のかかる場所で使用しないでください。
スプレーをかけないでください。
(殺虫剤、整髪用、掃除用等)
●樹脂や塗装部分が変質したり、破損の原因になります。


禁　止
次の場所では、使用しないでください。
(ガスレンジ等の炎の近く、引火性ガスのある所、雨や水のかかる場所)
●炎の立ち消え、引火・爆発やショートして火災・感電の原因になります。


プラグを抜く
外出するときなど使用しないときや何か異常があった場合はすみやかに差込みプラグを抜いてください。
●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。


可動部へ接触禁止
ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。特に移動する際にはご注意ください。
●ケガの原因になります。

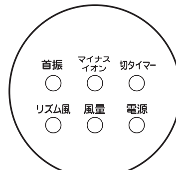

禁　止
障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所で使用しないでください。
●破損や故障の原因になります。


禁　止
製品を倒さないでください。
●羽根が割れたり、故障や事故の原因になります。

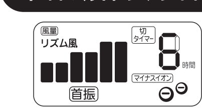

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。
●感電やショートして発火することがあります。

各部の名称

本体操作部

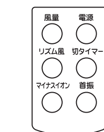


本体動作表示部



取っ手
リモコン収納部
フィルター
ルーバー
吸気口（本体背面）
送風口
（マイナスイオン発生口）
本体
フロントカバー
スタンド（後）
電源コード
差込みプラグ
スタンド（前）

《付属品》



ワイヤレスリモコン

電池１個
（リチウム電池 CR 2032 DC3V）

本体固定用蝶ネジ（2本）

※製品は、絵と少し違うことがあります。

組み立て方

●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。
●包装ケースは、保管するときに必要ですから捨てないでください。

⚠警 告

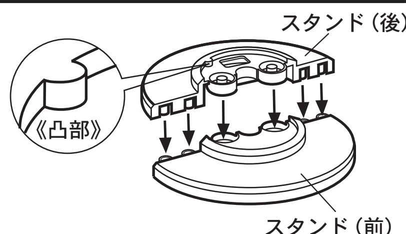
組み立て前、あるいは組み立て中に差込みプラグをコンセントに差し込まないでください。

●ファンが回り出し、ケガをしたり、故障の原因になります。

1 スタンドを組み立てます。

●スタンド（後）をスタンド（前）にはめ込みます。

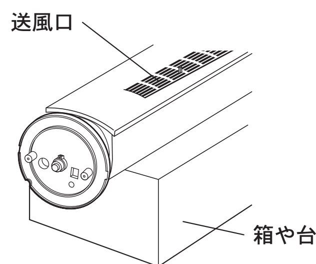
※《凸部》があるほうが「スタンド（後）」になります。



2 本体の送風口が上になるように箱などの台の上に置いてください。

●本体にスタンドを取り付けやすくするためです。

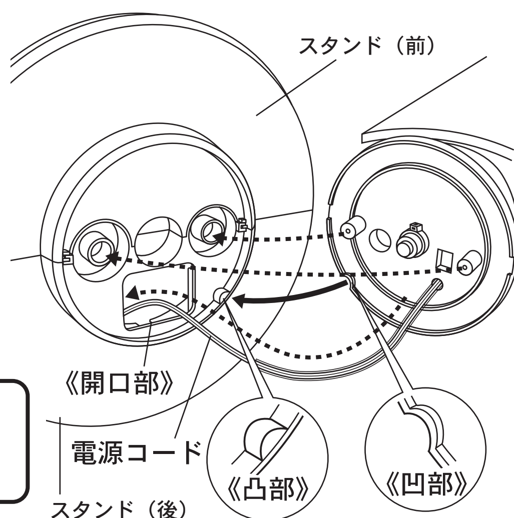
●本体背面が丸いので、転がらないように注意してください。



3 本体にスタンドを取り付けます。

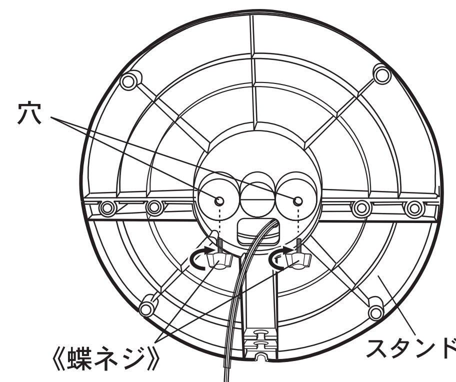
① 電源コードをスタンドの《開口部》に通してください。

② 電源コードを引きながら、本体後ろ側の《凹部》をスタンド後の《凸部》に入れてください。

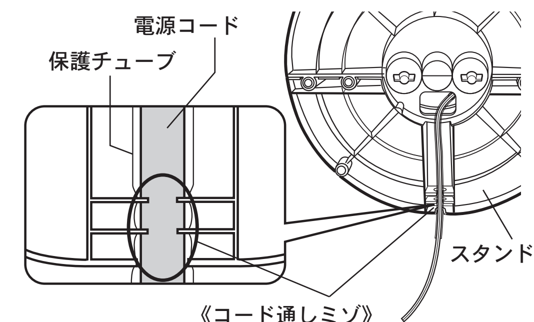


ご注意 電源コードがかみ込まないように電源コードを引きながらスタンドをはめ込んでください。

③ 付属の《蝶ネジ》２本でスタンド底部より本体を固定します。



④ 電源コードを図のようにスタンド底部の《コード通しミゾ》に確実に固定します。



使い方

■はじめてご使用になるときは、少し臭いが発生することがありますが、ご使用にともない消えます。
■操作は、リモコンと本体操作ボタンの両方でできます。
■各ボタンを押すたびに『ピッ』という音がします。
■差込みプラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
■差込みプラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください。



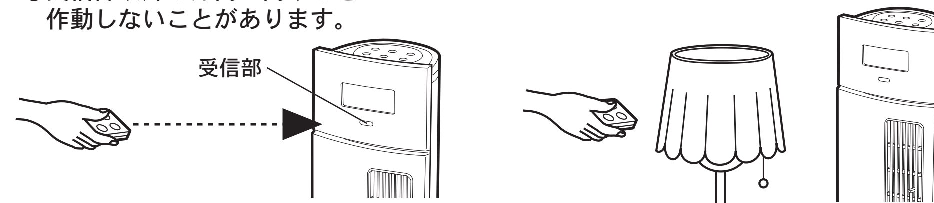
操作パネル部やマイナスイオン発生口に水・お茶・ジュース等を絶対にこぼさないでください。もしこぼした場合はご使用を中止し、お買上げの販売店で点検を受けてからご使用ください。
●事故や故障の原因になります。

リモコン操作上のご注意

■リモコンの送信部を本体動作表示部の受信部に向けて操作してください。

●受信部以外の方向へ向けると作動しないことがあります。

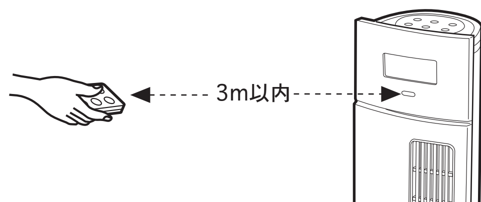
■リモコンの送信部と本体の受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。



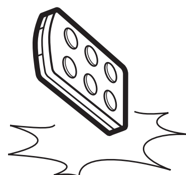
■電池が消耗しますと、遠隔操作のできる範囲が狭くなりますので、ご注意ください。
■インバーター式の照明器具の下や、直射日光の下では、リモコンの受信感度が落ち、作動しないことがあります。
■運転中に停電した場合や、差込みプラグが抜けた場合、『切』になりますのではじめから操作し直してください。

リモコン取り扱いについてのご注意

●下図は目安で、お部屋の大きさ、製品の設置場所などで異なります。



●リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。

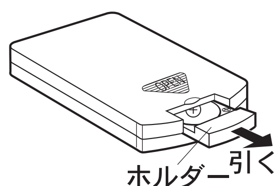


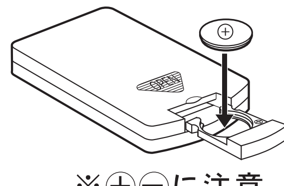
電池交換のしかた及びご注意

1 リモコン裏側のホルダーを図のようにはずします。

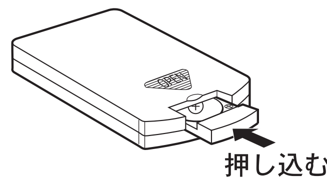
2 電池をホルダーに正しく入れます。

3 ホルダーを取り付けます。





※⊕⊖に注意



ご注意

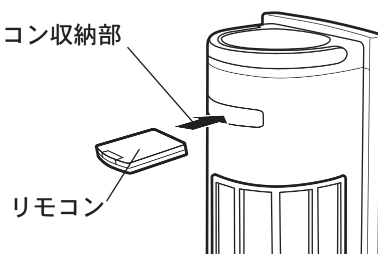
■電池は、使い方を誤ると電池の液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂するおそれがあります。
■電池は、指定の電池（コイン形二酸化マンガンリチウム電池3.0V、品番CR2032）と交換してください。
■⊕ ⊖をリモコンの表示に合わせて、正しく入れてください。
■電池は、充電、ショート、分解、加熱しないでください。
■電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。<u>ボタン電池はお子様が誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。</u>
■シーズン終了後、電池は必ず抜いて保管してください。

リモコン収納の使い方

●リモコンはリモコン収納部に収納できます。

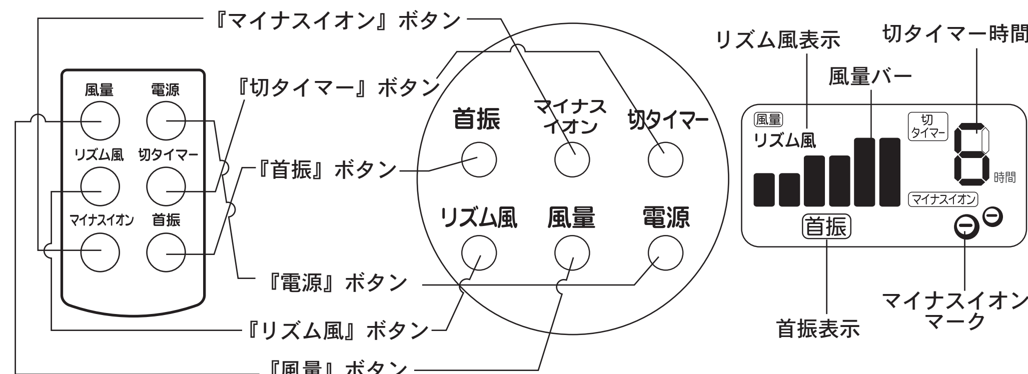
ご注意　本体をかたむけるとリモコンがリモコン収納部から落ちる場合があります。

《本体背面》



ボタンの使い方

リモコン操作部　本体操作部　本体動作表示部

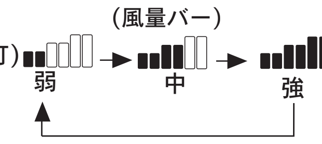


■『電源』ボタン

●『電源』ボタンを押すと風量バーが表示され『弱』で運転を開始します。
●運転中に『電源』ボタンを押すと全ての表示が消え全ての運転を停止します。
●差込みプラグを抜かずに再度『電源』ボタンを押すと、停止前の『風量』、『リズム風』、『首振』及び『マイナスイオン』設定で運転をします。
※『切タイマー』設定は再度設定しなおしてください。
●停電や差込みプラグを抜いた場合全ての設定がリセットされます。
※再度設定しなおしてください。

■『風量』ボタン　※運転中でないと操作できません。

●押すたびに風量が切り換わり、風量バーが表示されます。（点灯）



※『弱』『中』『強』どれか一つでも不具合が生じた場合には、ただちに使用を中止してください。（例：『強』に不具合が生じたが、『弱』『中』であれば正常に作動する。）

■『首振』ボタン　※運転中でないと操作できません。

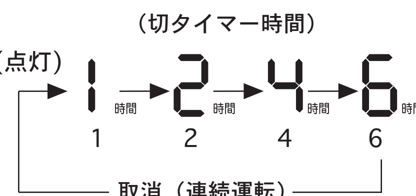
●『首振』ボタンを押すと左右に首振りをし、もう一度ボタンを押すと首振りを停止します。



首振運転中に、無理やり本体を停止させたり、回したりしないでください。
●故障の原因になります。

■『切タイマー』ボタン（最大6時間）

※運転中でないと切タイマー設定は、できません。
●押すたびに切タイマー設定時間が切り換わり、切タイマー時間が表示され、切タイマーが設定されます。
●時間がたつと切タイマー時間の表示が切り換わり、残りの時間をお知らせします。
●設定時間が終わると切タイマー時間が消え、自動的に運転を停止します。



■『マイナスイオン』ボタン

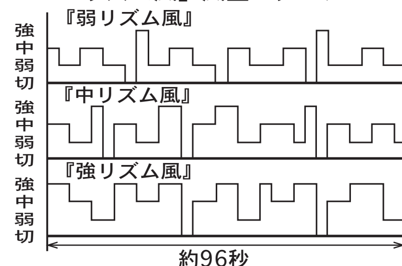
●運転中に『マイナスイオン』ボタンを押すとマイナスイオンマークが表示され、マイナスイオンが発生します。

お知らせ　マイナスイオン発生口からわずかにオゾン臭や放電音がする場合がありますが異常ではありません。

■『リズム風』ボタン
※運転中でないと操作できません。

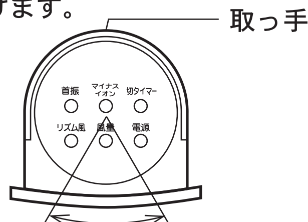
●『リズム風』ボタンを押すと、リズム風表示が表示され、風量がリズミカルに変化するリズム風モードになります。
●リズム運転中にもう一度『リズム風』ボタンを押すと通常運転にもどります。
●リズム風は図のような周期で変化します。

■『リズム風』風量パターン



本体方向の変え方

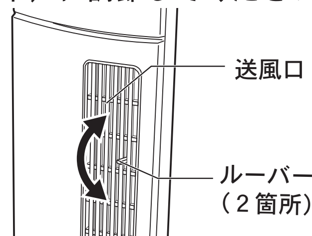
●本体の取っ手を持って、軽く回してください。
●首振の中心位置が６０度の範囲でお選びいただけます。



ご注意　無理な力で方向を変えないでください。
●故障の原因になります。

風向き（上下）の変え方

●ルーバーを持ってお好みの角度（上下）に調節してください。



お知らせ　ルーバーで左右の風向きの調節はできません。
●故障の原因になります。

お手入れと保管について

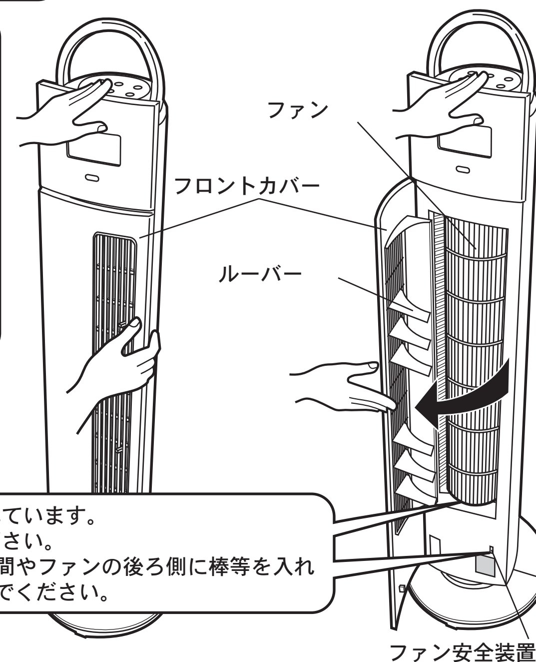
お手入れのしかた

●お手入れ前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布でふき取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。
●送風口（マイナスイオン発生口）のホコリを掃除機等で吸い取ってください。ホコリの付着が多いとマイナスイオンの発生量が低下します。ひどい場合はフロントカバーを開けて内部のお手入れをしてください。
汚れがひどくなるとマイナスイオンの発生量が少なくなったり、イオン部電極間に放電音がする場合もありますのでこまめに掃除をしてください。
（フロントカバーの開け方は次ページを参照してください。）
●フィルターの汚れは、掃除機等でホコリを吸い取るか、軽くたたいてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗ってください。
洗った後は、よくすすぎ日陰で乾かしてから取り付けてください。
(フィルターの取りはずし方は次ページを参照してください。)
●シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などでふかないでください。(樹脂や塗装部分が変色、変質するおそれがあります。)
●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり塗装がはげたりすることがありますので、ご注意ください。
●長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふきとってからご使用ください。

フロントカバーの開けかた

ご注意
●フロントカバーを開ける前に、必ず運転を停止して差込みプラグを抜いてください。
●運転停止後しばらくはファンが回転しますので、ファンの回転が止まったのを確認してからフロントカバーを開けてください。
●フロントカバーを閉めるまでは差込みプラグをコンセントに差し込まないでください。

●本体上部を押さえながらフロントカバーを手前に引いて開けてください。



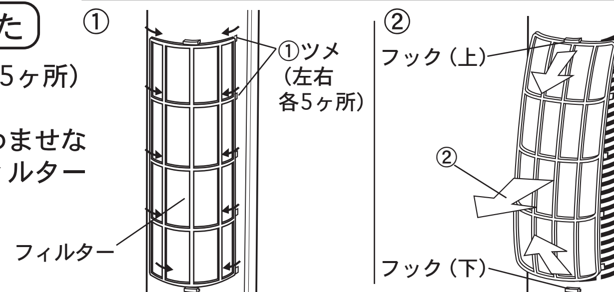
●ファン安全装置が設置されています。
穴に棒等を入れないでください。
また、ファンの下部のすき間やファンの後ろ側に棒等を入れたり、無理に掃除をしないでください。

フィルターの着脱のしかた

フィルターが本体背面に取り付けられています。

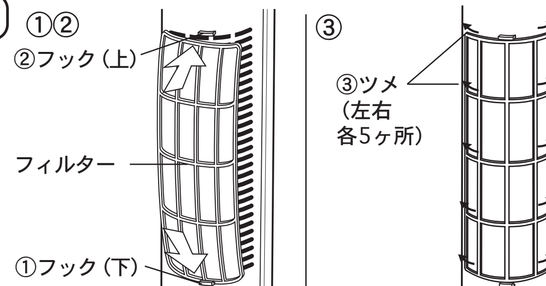
フィルターのはずしかた

①フィルターのツメ（左右各5ヶ所）をはずします。
②フィルターの中央部をたわませながら上下のフックからフィルターをはずします。



フィルターの取り付けかた

①本体下側のフックにフィルターをかけます。
②本体上側のフックにフィルターを差し込みます。
③フィルターのツメ（左右各5ヶ所）を本体に取り付けます。



保管のしかた

●保管の前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●スタンド部分は次の順序で分解してください。

スタンドのはずし方

1 蝶ネジ２本を矢印の方にまわしてはずします。
電源コードをコード通しミゾからはずします。

蝶ネジ
電源コード
コード通しミゾ

※蝶ネジはなくさないようにしてください。

2 スタンドを本体からはずし、電源コードを全て開口部から取り出してください。

スタンド
本体
開口部
電源コード

3 スタンドを分解します。

スタンド（後）
スタンド（前）

ご注意　はずすときにケガをしないよう注意してください。

●お手入れ後、包装ケースに入れ湿気の少ないところに保管してください。

修理サービスを依頼する前に

■故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになってからお買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
『電源』ボタンを押してもファンがまわらない	●差込みプラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか? ●リモコンの電池が古くなっていませんか？
『首振』ボタンを押しても首振りしない	●運転中に操作していますか？
『切タイマー』ボタンを押しても切タイマー表示が点灯しない	●運転中に操作していますか？
異常音がする	●スタンドはしっかりと取り付けていますか？


分解禁止

絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。

●マイナスイオンを発生させる高電圧発生ユニットを使用しています。

修理サービスについて

(1)保証書
●この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買上げ日より1年間です。

(2)修理を依頼されるとき
●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
●保証期間が過ぎているときは
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3)補修用性能部品の保有期間
このスリムファンの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後８年です。

(4)ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5)修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体に西暦4桁で表示してあります）



※【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-1による

環境条件	電圧	単相100V又は単相200V	製品の定格電圧による。
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	機器の取扱説明書による。
負荷条件		定格負荷（風速）	機器の取扱説明書による。
想定時間など	運転時間	8（h／日）	
	運転回数	5（回／日）	
	運転日数	110（日／年）	
	スイッチ操作回数	550（回／年）	
	首振運転の割合	100（%）	
注記　環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

●「経年劣化とは」・・・長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。